

2015年6月30日

株式会社 リクルートマーケティングパートナーズ

ブライダル総研

夫婦関係調査2015

約7割が夫婦関係に満足。

夫は「会話」の回数、妻は「一緒に趣味を楽しむ」回数で満足度が変化。
さらに、若年の妻にとっては「夫の育児・家事参加」がポイントに。
また、「結婚時のセレモニー」は結婚後の夫婦関係に影響する

<夫婦の満足状況と経年変化>.....P3・4

夫婦関係に満足している割合は約7割。2012年と比べ、夫は減少、妻は微増

- ✓ 20代～60代既婚者において、夫婦関係に満足している割合は69.2%で2012年(71.4%)より2.2ポイント減少。
- ✓ 夫は全年代で減少。妻は30代、40代、50代で増加、20代、60代で減少し、妻全体では微増となった。

夫婦の状況において、夫は2012年と比較し、多くの項目で減少し、妻は多くの項目で増加している

- ✓ 夫婦の状況において、夫が増加したのは2項目(「配偶者と一緒にいると、緊張したり、気が重たくなる」「配偶者との性生活に満足している」)のみで、多くの項目が減少。特に減少したのは、「大切な、かけがえのない絆がある」「配偶者に日常の出来事などを普段からよく話している」「将来の夢や計画について話し合っている」。
 - ✓ 妻は、夫よりも多くの項目が増加し、特に増加したのは、「配偶者との性生活に満足している」「コミュニケーションは十分にとれている」「配偶者に自分の考えや悩みについてもよく話している」。
- また、減少した項目もあり、特に減少したのは、「大切な、かけがえのない絆がある」「配偶者はよい父親だ」「配偶者の心配事や悩みを聞いている」。

<満足度別夫婦の行動>.....P5・6

夫婦関係の満足度が高い夫は「夫婦間の会話」の回数、妻は「一緒に趣味を楽しむ」回数が多い。若年の妻にとっては「夫の育児・家事への参加」がポイントに

- ✓ 夫婦満足度が高い夫は、非満足の夫に比べて「1時間以上の夫婦2人での会話」または「1時間以上の家族(夫婦)との会話」の回数が、全年代を通じて多い。
 - ✓ 夫婦満足度が高い妻は、非満足の妻に比べて「夫婦2人で、仕事の後や休日に一緒に遊んだり、趣味を楽しむ」または「家族(夫婦)で、仕事の後や休日に一緒に遊んだり、趣味を楽しむ」回数が全年代を通じて多い。
- 加えて、若年層の満足度が高い妻は「夫の育児参加」や「夫の家事参加」の回数が、非満足の妻に比べて多い。

<離婚の検討経験>.....P7

「別居、離婚をしたい」と思ったことがある夫は16.1%に対し、妻は27.0%

- ✓ 「別居・離婚をしたいと思ったことがある」は既婚者全体で21.7%
- ✓ 夫・妻別でみると妻の方が離婚を考えたことがある人が多い(夫16.1%/妻27.0%)

<結婚前に話し合った内容と結婚に関するセレモニー実施状況>.....P8・9

離婚者は結婚前に「結婚に関するセレモニー」について話し合った割合が低く、さらに、実施する割合も低い

- ✓ 結婚する前に話し合った内容において、「既婚者」と「離婚者」のさが大きい項目(既婚者－離婚者のポイント差)は「新婚旅行について(13.6pt)」「婚約指輪・結婚指輪について(11.0pt)」「子どものことについて(9.9pt)」「結婚式について(9.5pt)」。
- ✓ 結婚に関するセレモニーにおいて、「既婚者」と「離婚者」の差が大きい上位5項目(既婚者－離婚者のポイント差)は、「新婚旅行(16.2pt)」「プロポーズがあった(14.8pt)」「婚約指輪を購入、またはもらった(14.6pt)」「挙式(13.0pt)」「結納(12.8pt)」

※既婚者：初婚の既婚者、離婚者：離婚経験のある独身者

◆出版・印刷物へデータを転載する際には、「夫婦関係調査2015(リクルートブライダル総研調べ)」と明記いただけますようお願い申し上げます。

◆「夫婦関係調査2015」の詳細は、弊社『ブライダル総研』サイト(<http://bridal-souken.net>)より、ダウンロードいただけます。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここいない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【リクルートマーケティングパートナーズに関するお問い合わせ先】
https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【調査概要】

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査

【調査期間】 2015年3月27日（金）～3月31日（火）

【調査対象】 全国の「既婚者かつ本人初婚」および「離婚経験のある独身者（結婚経験1回）」の20代～60代の男女

【回収サンプル数】 既婚者：2,000件、離婚経験者：938件の合計2,938件

※本調査では、性・年代別に定数にてサンプルを回収し、集計の際に実際の性・年代別未婚者・既婚者およびエリア別の人口構成に合わせるために、サンプルに重みづけをおこなった（ウェイトバック補正）

回収サンプル構成

			20代	30代	40代	50代	60代	合計
東名阪	既婚者	男性	100	100	100	100	100	1000
		女性	100	100	100	100	100	
	離婚経験者	男性	24	50	50	50	50	474
		女性	50	50	50	50	50	
東名阪以外	既婚者	男性	100	100	100	100	100	1000
		女性	100	100	100	100	100	
	離婚経験者	男性	14	50	50	50	50	464
		女性	50	50	50	50	50	

※「東名阪」とは、首都圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）、東海（愛知・岐阜・三重）、関西（大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山）を示します。



「性別」「年代別」「既婚・離婚者別」「東名阪・それ以外のエリア別」における人口構成（平成22年国勢調査による）に合わせてウェイトバック補正を実施

ウェイトバック補正後サンプル構成

			20代	30代	40代	50代	60代	合計
東名阪	既婚者	男性	30	145	166	157	194	1432
		女性	43	169	176	164	188	
	離婚経験者	男性	1	6	11	12	14	116
		女性	2	12	19	18	19	
東名阪以外	既婚者	男性	29	116	129	160	178	1269
		女性	40	132	144	169	171	
	離婚経験者	男性	1	7	11	14	13	121
		女性	3	14	19	20	18	

※ウェイトバックによる補正を行なっているため、補正後サンプル数に小数点が発生していますが、四捨五入して整数表記をしています。そのため、サンプル数の合計と誤差が生じる場合がございますが、ご了承ください。

◆人口構成比算出元データ

平成22年国勢調査人口等基本集計より

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/index.htm>

※本文中で使用している時系列のデータは、それぞれ過去に実施した同調査のデータです。調査概要は以下の通りです。

<「夫婦関係調査2012」>

【調査期間】 2012年2月16日（木）～2月21日（火）

【調査対象】 全国の「既婚者かつ本人初婚」および「離婚経験のある独身者（結婚経験1回）」の20代～60代の男女

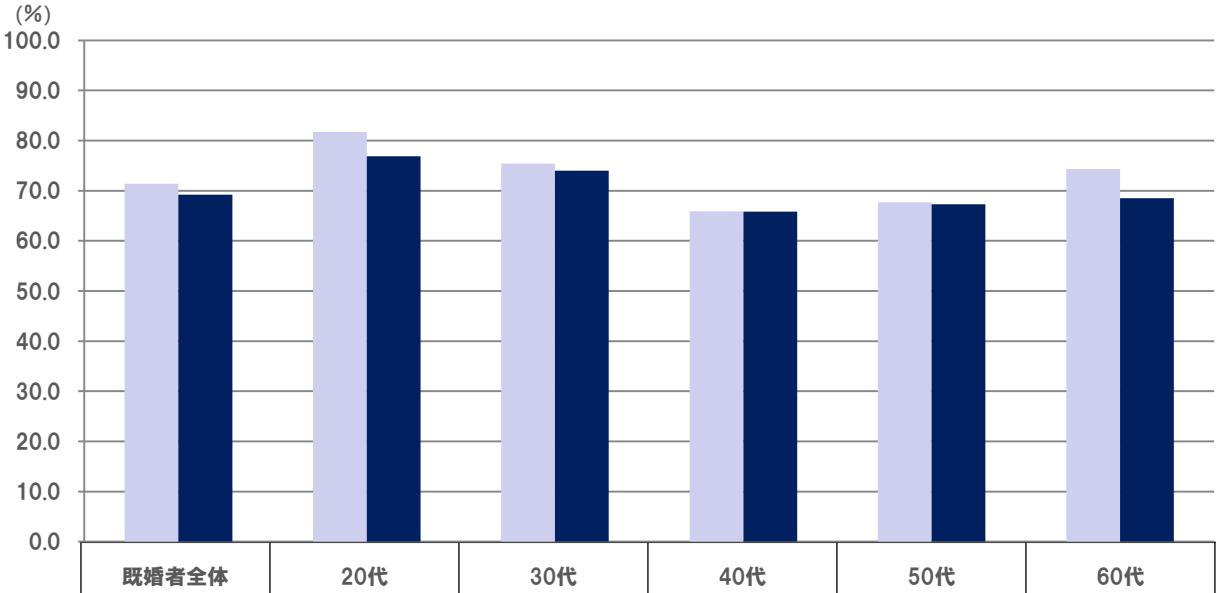
【集計サンプル数】 既婚者：2,000件、離婚経験者：400件の合計2,400件

※2015年との比較のため、新たに上記と同様のウェイトバック補正を行った。

夫婦関係に満足している割合は約7割。2012年と比べ、夫は減少、妻は微増

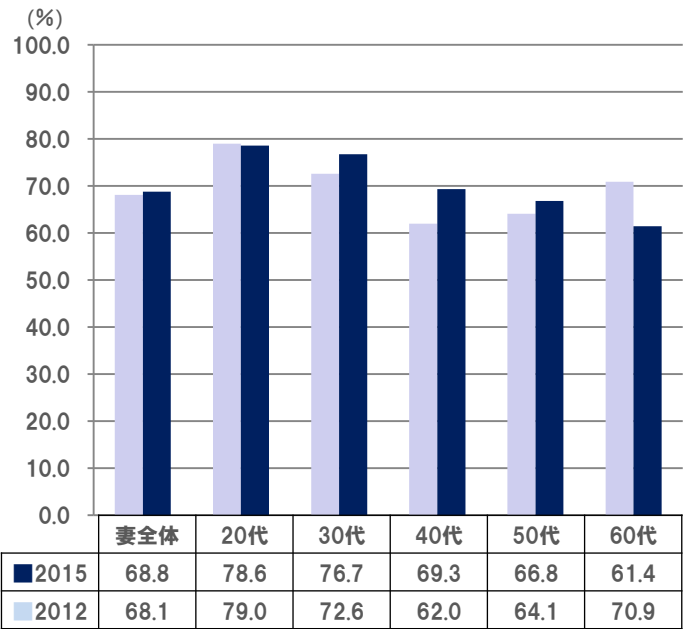
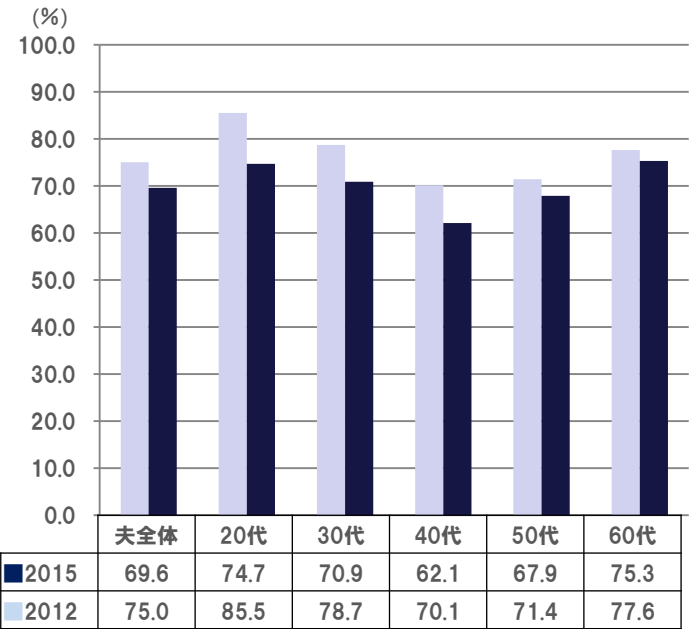
既婚者において、「夫婦関係に満足している」は69.2%（「非常にそう思う」「ややそう思う」計）で、2012年調査（71.4%）より2.2ポイント減少した。夫は20代（2012年 85.5%／2015年 74.7%）、30代（78.7%／70.9%）、40代（70.1%／62.1%）、50代（71.4%／67.9%）、60代（77.6%／75.3%）が減少。妻は30代（72.6%／76.7%）、40代（62.0%／69.3%）、50代（64.1%／66.8%）が増加し、20代（79.0%／78.6%）、60代（70.9%／61.4%）で減少した。

■夫婦関係に満足している(既婚者全体年代別／「非常にそう思う」「ややそう思う」計)



	既婚者全体	20代	30代	40代	50代	60代
2015	69.2	76.9	74.0	65.8	67.3	68.5
2012	71.4	81.7	75.4	65.9	67.7	74.3

■夫婦関係に満足している（夫・妻年代別／「非常にそう思う」「ややそう思う」計）



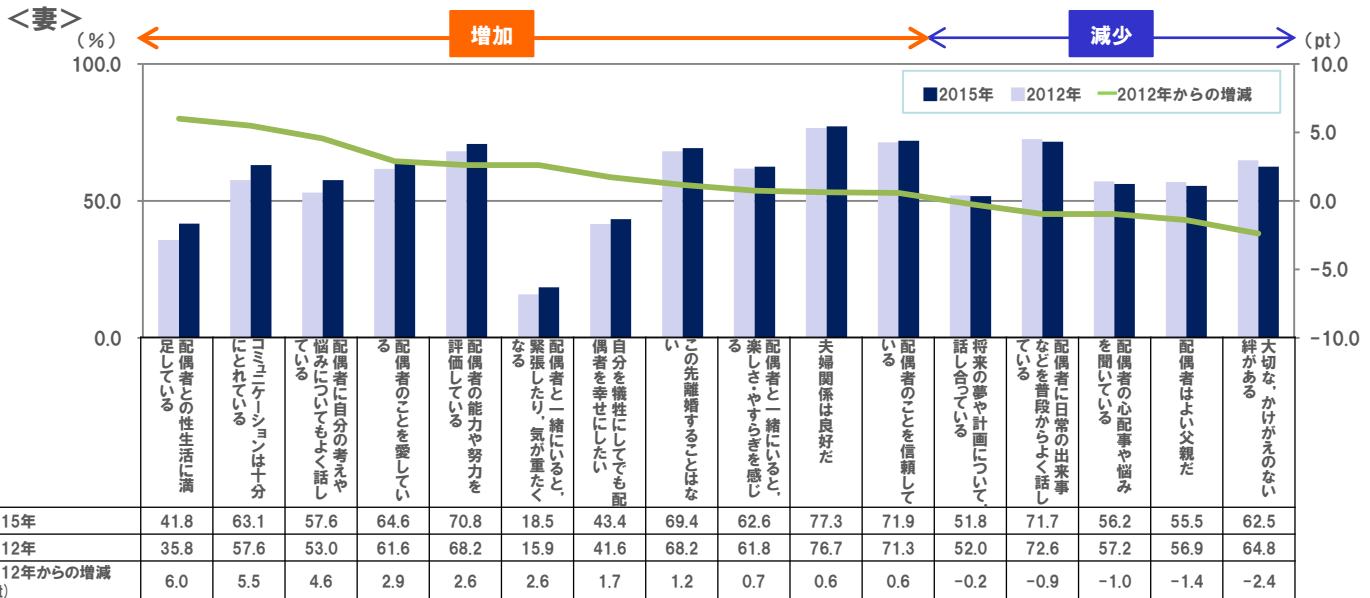
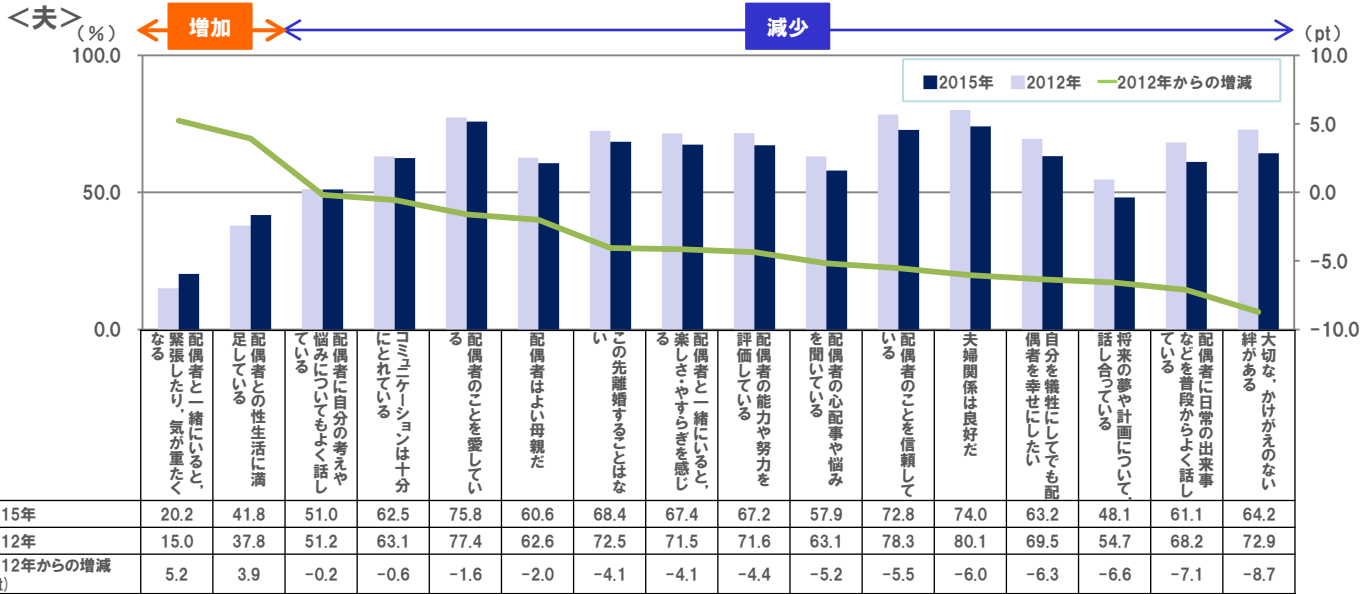
夫婦の状況において、夫は2012年と比較し、多くの項目で減少し、妻は多くの項目で増加している

夫婦の状況において、夫が増加したのは2項目(「配偶者と一緒にいると、緊張したり、気が重くなる(+5.2pt)」「配偶者との性生活に満足している(+3.9pt)」)のみで、多くの項目が減少した。特に減少したのは、「大切な、かけがえのない絆がある(-8.7pt)」「配偶者に日常の出来事などを普段からよく話している(-7.1pt)」「将来の夢や計画について話し合っている(-6.6pt)」。

一方で妻は、夫よりも多くの項目が増加し、特に増加したのは、「配偶者との性生活に満足している(+6.0pt)」「コミュニケーションは十分にとれている(+5.5pt)」「配偶者に自分の考えや悩みについてもよく話している(+4.6pt)」。

また、減少した項目もあり、特に減少したのは、「大切な、かけがえのない絆がある(-2.4pt)」「配偶者はよい父親だ(-1.4pt)」「配偶者の心配事や悩みを聞いている(-1.0pt)」。

■夫婦の状況(夫・妻別/「非常にそう思う」「ややそう思う」計/2012年からの増減ポイント差降順)

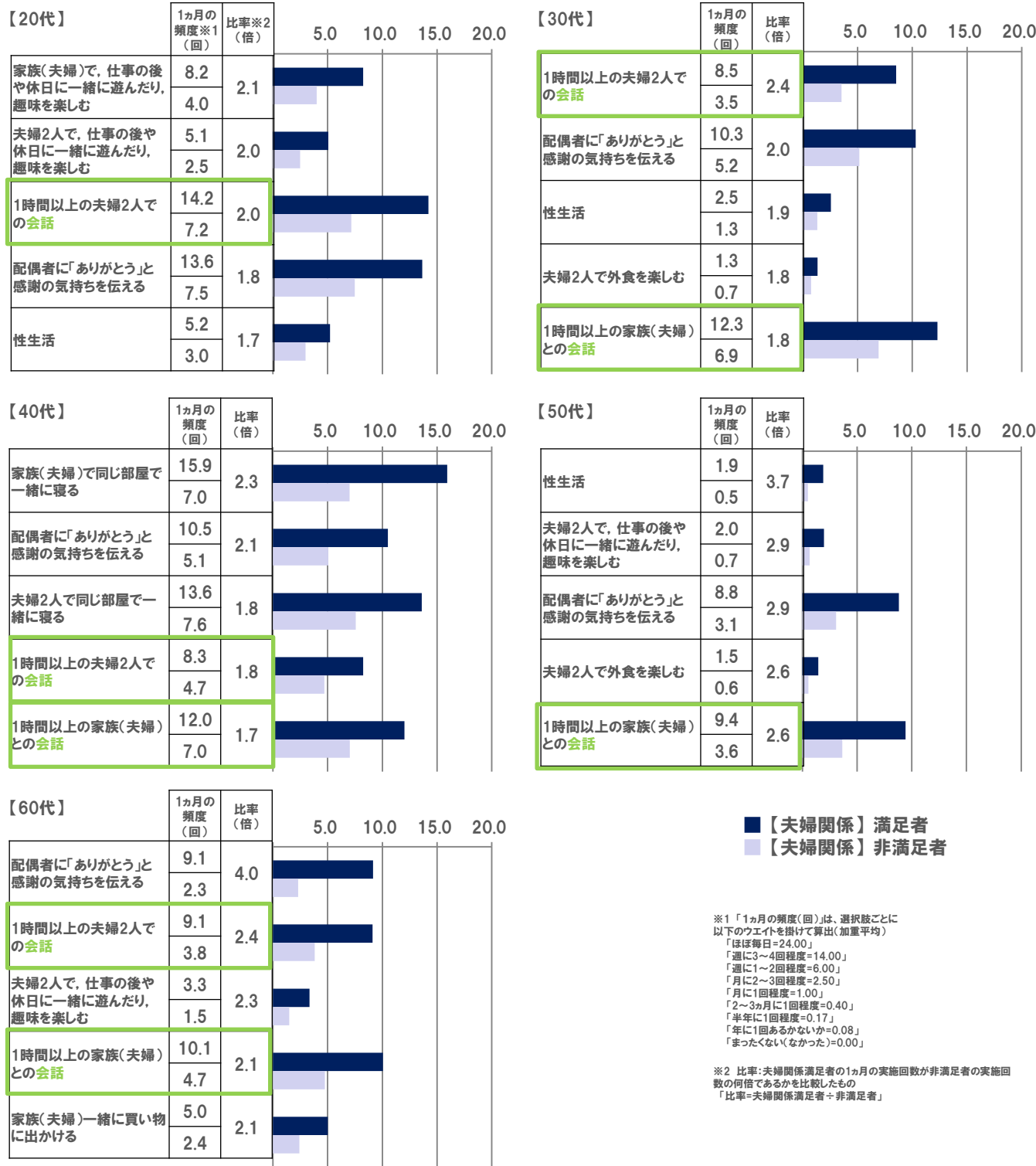


日常の夫婦の行動において、夫婦関係満足者の1ヵ月に行う回数をみると、夫は20代～60代共通して、「家族・夫婦での会話」といった会話に関する項目が非満足者に比べて多い

「1時間以上の夫婦2人での会話」:(20代 2.0倍/30代 2.4倍/40代 1.8倍/60代 2.4倍)
「1時間以上の家族(夫婦)との会話」:(30代 1.8倍/40代 1.7倍/50代 2.6倍/60代 2.1倍)

■日常の夫婦の行動（夫の夫婦関係満足者・非満足者年代別／1ヵ月に行う回数／倍数が大きい上位5項目 降順）
※各年代の夫全体の1ヵ月の実施回数が1回以下の項目を除く

<夫>



日常の夫婦の行動において、夫婦関係満足者の1ヵ月に行う回数をみると、妻は20代～60代共通して、「共通の楽しみ」に関する項目が非満足者に比べて多い。加えて、若年の妻では「配偶者の育児・家事の参加」の回数が、非満足者に比べて多い

「夫婦2人で、仕事の後や休日に一緒に遊んだり、趣味を楽しむ」:(20代 2.8倍/30代 1.8倍/40代 15.0倍/60代 2.4倍)

「家族(夫婦)で仕事の後や休日に一緒に遊んだり、趣味を楽しむ」:(30代 1.7倍/50代 4.8倍/60代 3.1倍)

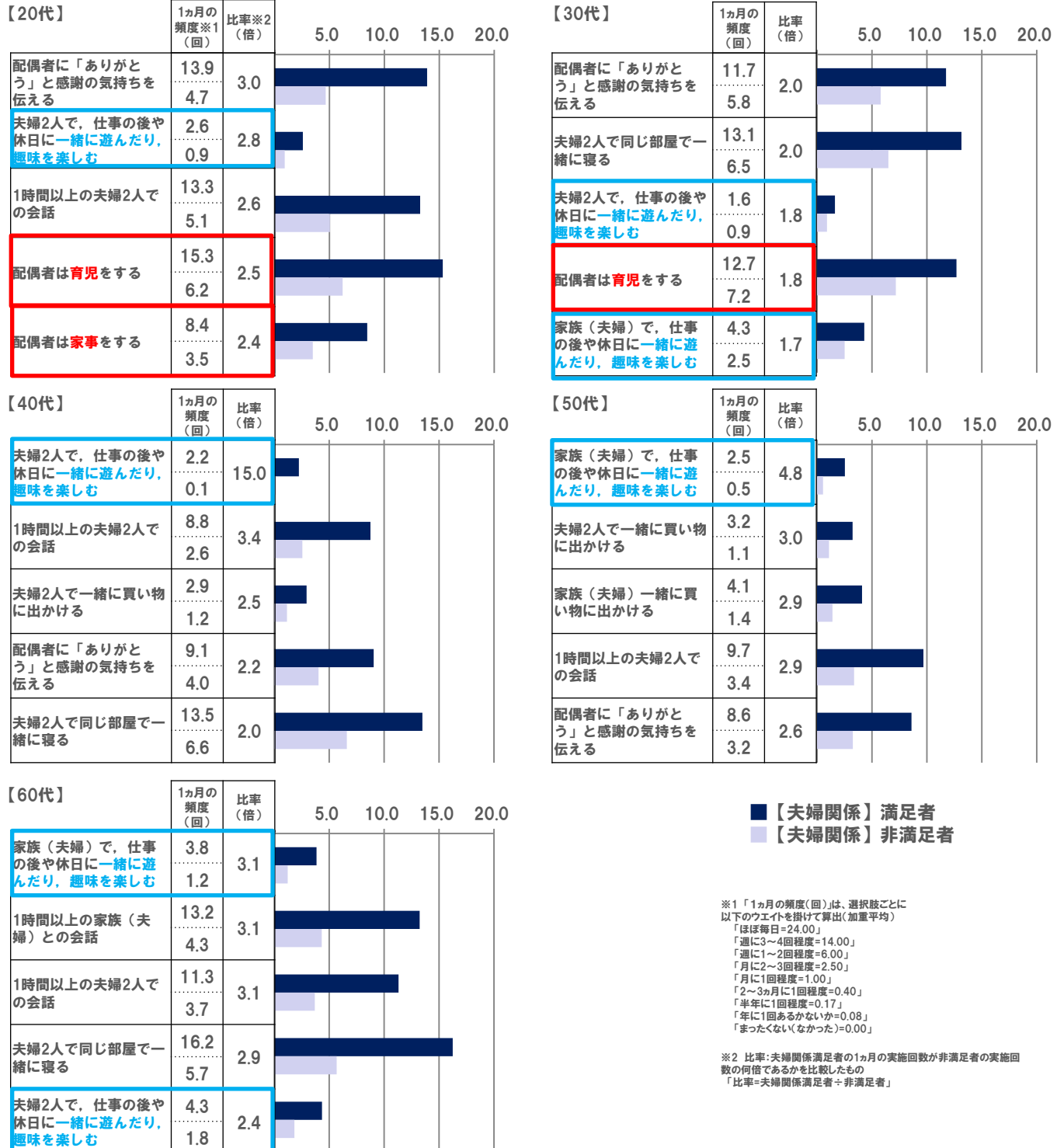
「配偶者は育児をする」:(20代 2.5倍/30代 1.8倍)

「配偶者は家事をする」:(20代 2.4倍)

■日常の夫婦の行動（妻の夫婦関係満足者・非満足者年代別／1ヵ月に行う回数／倍数が大きい上位5項目 降順）

<妻>

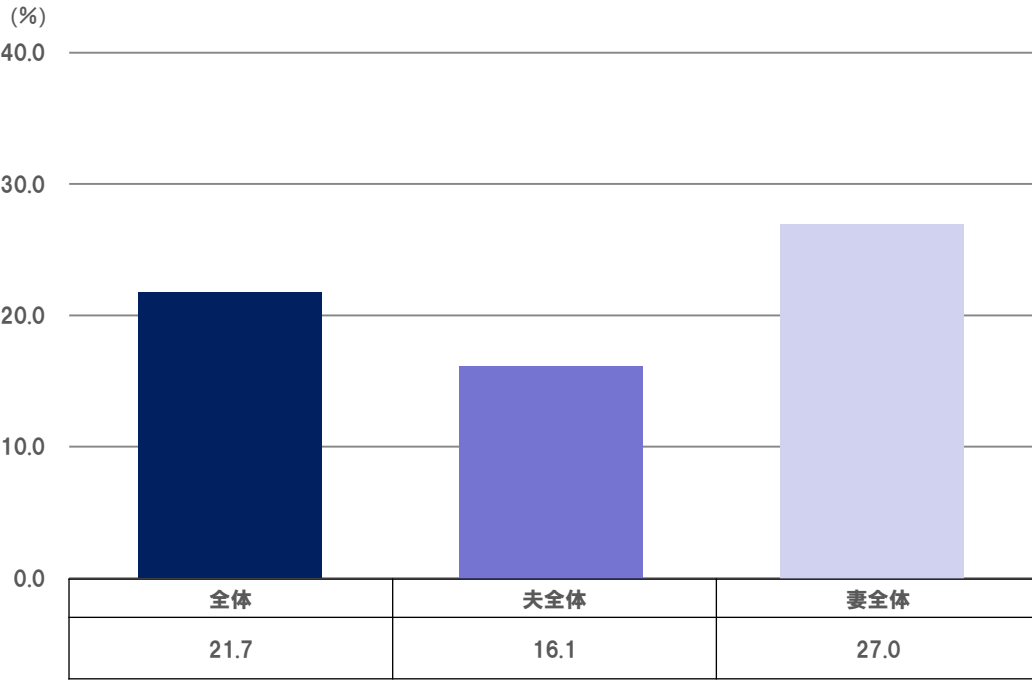
※各年代の妻全体の1ヵ月の実施回数が1回以下の項目を除く



「別居、離婚をしたい」と思ったことがある夫は16.1%に対し、妻は27.0%

「別居、離婚をしたいと思ったことがある」は既婚者全体で21.7%。
男女別でみると、夫より妻が「別居・離婚をしたいと思ったことがある」割合が高い(夫16.1%/妻27.0%)。

■別居・離婚をしたいと思ったことがある（既婚者全体／夫・妻別）

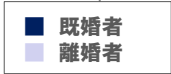
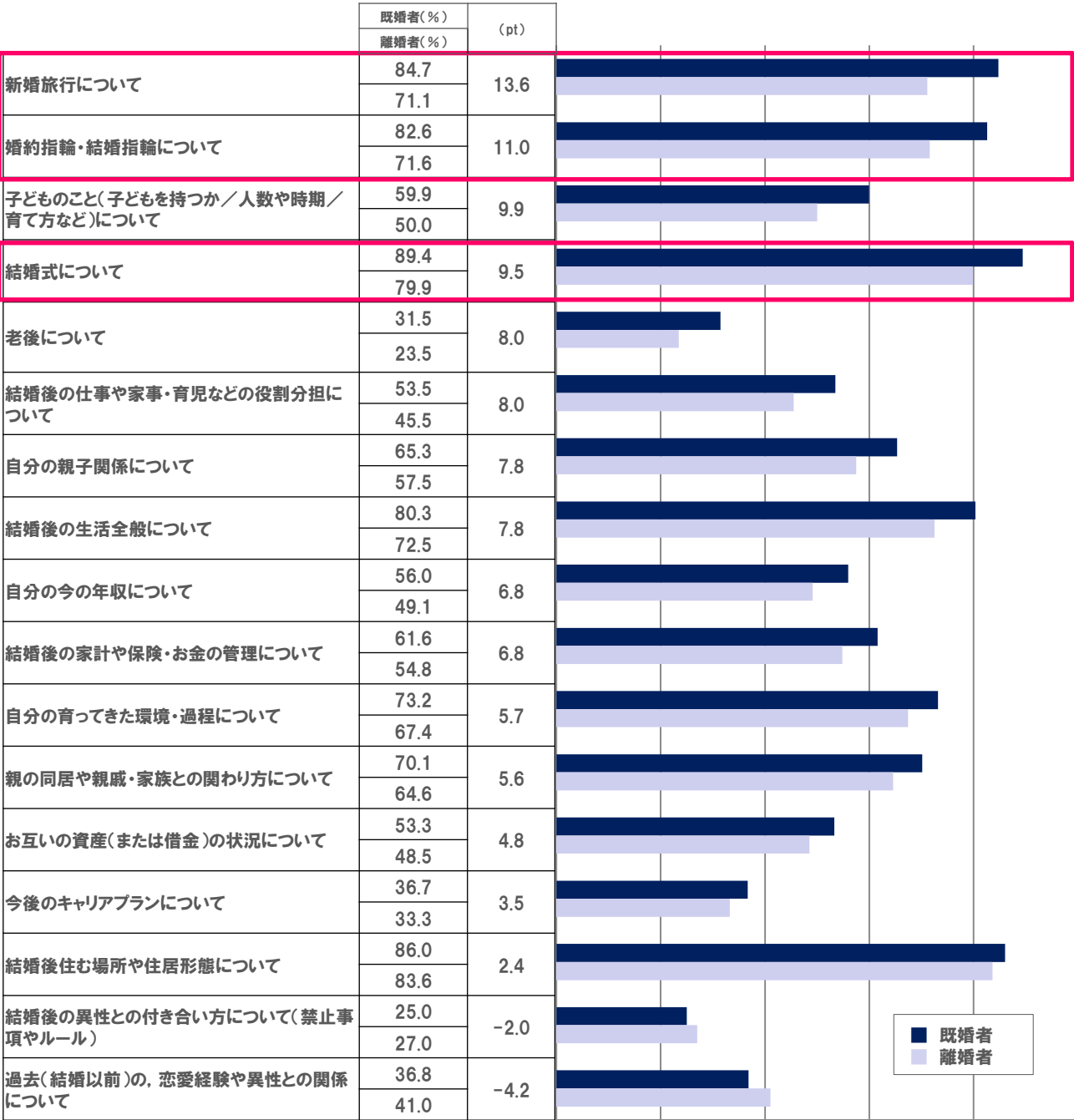


離婚者は結婚前に「結婚に関するセレモニー」について話し合った割合が既婚者に比べて低い

結婚する前に話し合った内容において、「既婚者」と「離婚者」のさが大きい項目（既婚者－離婚者のポイント差）は「新婚旅行について(13.6pt)」
「婚約指輪・結婚指輪について(11.0pt)」 「子どものことについて(9.9pt)」 「結婚式について(9.5pt)」。
※既婚者：初婚の既婚者
※離婚者：離婚経験のある独身者

結婚する前に話し合った内容（既婚者・離婚者別／「よくした」「少しした」計／ポイント差降順）

セレモニー



0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0 (%)

離婚者は「結婚に関するセレモニー」を実施する割合が既婚者に比べて低い

「離婚者」と「既婚者」の差が大きい上位5項目は「新婚旅行(16.2pt)」「プロポーズがあった(14.8pt)」「婚約指輪(エンゲージリング)を購入、またはもらった(14.6pt)」「挙式(13.0pt)」「結納(12.8pt)」。

※既婚者：初婚の既婚者
※離婚者：離婚経験のある独身者

■結婚時のセレモニー実施状況（20代～60代男女既婚者・離婚者別／ポイント差降順）

